



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東  
 コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>  
 代表者（役職名）取締役 代表執行役 CEO（氏名）松山 達  
 問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役 CFO（氏名）上田 洋一（TEL）06-6224-0193  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	17,784	△2.7	1,127	214.6	531	—	308	—	308	—	1,237	—
2025年12月期第1四半期	18,273	△8.5	358	△76.2	△554	—	△559	—	△558	—	△3,957	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	8.06	7.73
2025年12月期第1四半期	△14.00	△14.00

（参考）EBITDA 2026年12月期第1四半期 2,004百万円（62.1%増） 2025年12月期第1四半期 1,237百万円  
 EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	152,002	38,308	38,308	25.2
2025年12月期	151,658	37,035	37,035	24.4

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	0.2	2,500	—	1,100	—	500	—	13.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	41,599,600株	2025年12月期	41,599,600株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	3,340,515株	2025年12月期	3,346,658株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	38,254,573株	2025年12月期1Q	39,838,642株

(注) 期末自己株式数には「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式(2026年12月期1Q 1,605,904株、2025年12月期 1,612,047株)を含めております。また、各信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、米国を中心とした個人消費の底堅さやインドをはじめとする新興国経済の成長に支えられ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国とイランによる軍事衝突により、石油をはじめとするエネルギー価格の上昇や、主要海上輸送ルートにおける物流の混乱への懸念が顕在化し、世界経済の先行きに対する不透明感が高まりました。また、インフレ率は一部地域で鈍化の動きがみられるものの、資源価格やエネルギーコストの上昇を背景に、金融政策の動向や企業投資への影響について引き続き注視が必要な状況が続いております。

国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰や円安、それに伴う燃料価格等の上昇により景況感が悪化しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、為替の影響（円安）による増加要因があったものの、長引く欧州の自動車産業における生産及び販売の深刻な低迷により、前年同四半期比2.7%減の17,784百万円となりました。利益面につきましては、人件費及び燃料等の価格上昇による圧迫があったものの、2026年2月にTN GEORGIA, INC.が所有する固定資産の一部を譲渡したことに伴い固定資産売却益1,041百万円をその他の収益に計上したこと等により、営業利益は前年同四半期比214.6%増の1,127百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期と比較して866百万円増加し、308百万円の利益（前年同四半期は558百万円の損失）と黒字転換しました。

セグメント別の業績を示すと以下のとおりであります。

#### プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、長引く欧州の自動車産業における生産及び販売の深刻な低迷により伸び悩み、前年同四半期比3.1%減の17,437百万円となりました。セグメント利益は、人件費及び燃料等の価格上昇による圧迫があったものの、2026年2月にTN GEORGIA, INC.が所有する固定資産の一部を譲渡したことによる固定資産売却益1,041百万円を計上したこと等により、前年同四半期比289.0%増の1,116百万円となりました。

#### ブロー・リアルエステイトビジネス

ブロー・リアルエステイトビジネスの売上収益は、前年同四半期比25.6%増の347百万円となりました。セグメント利益は、人件費及び燃料・資材価格等の上昇により、前年同四半期比85.6%減の11百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ344百万円増加し152,002百万円となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が781百万円増加、その他の流動資産が707百万円増加、棚卸資産が1,195百万円減少したこと等によります。

負債につきましては、前期末に比べ929百万円減少し113,694百万円となりました。これは主に、その他の流動負債が1,150百万円減少したこと等によります。

資本につきましては、前期末に比べ1,273百万円増加し38,308百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が929百万円増加したこと等によります。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、631百万円の資金の減少となりました。主な要因としては、棚卸資産の減少1,337百万円、減価償却費及び償却費936百万円などの資金増加項目があったものの、固定資産売却益1,043百万円、営業債権及びその他の債権の増加646百万円、引当金の減少550百万円、営業債務及びその他の債務の減少

519百万円などの資金減少項目がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入を主な要因とし、781百万円の資金の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出を主な要因とし、79百万円の資金の減少となりました。

これらに当第1四半期連結累計期間中の前期末と比べた円安進行を主な要因とする、126百万円の換算差額等を加算した結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は34,830百万円と前連結会計年度末と比べ197百万円の増加となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,633	34,830
営業債権及びその他の債権	18,587	19,368
棚卸資産	25,726	24,531
その他の流動資産	9,145	9,852
流動資産合計	88,091	88,581
非流動資産		
有形固定資産	36,224	35,881
無形資産及びのれん	26,427	26,664
その他の投資	44	40
繰延税金資産	646	601
その他の非流動資産	226	235
非流動資産合計	63,567	63,421
資産合計	151,658	152,002
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,991	6,509
社債及び借入金	71,995	53,966
未払法人所得税等	693	525
その他の流動負債	7,191	6,041
流動負債合計	86,870	67,041
非流動負債		
社債及び借入金	20,849	39,585
退職給付に係る負債	1,742	1,665
繰延税金負債	2,451	2,598
その他の非流動負債	2,711	2,805
非流動負債合計	27,753	46,653
負債合計	114,623	113,694
資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	11,332	11,365
自己株式	△2,901	△2,898
その他の資本の構成要素	23,523	24,452
利益剰余金	△12,036	△11,728
親会社の所有者に帰属する持分	37,035	38,308
資本合計	37,035	38,308
負債及び資本合計	151,658	152,002

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
継続事業		
売上収益	18,273	17,784
売上原価	15,459	14,895
売上総利益	2,814	2,889
販売費及び一般管理費	2,626	2,806
その他の収益	176	1,066
その他の費用	6	22
営業利益	358	1,127
金融収益	166	49
金融費用	1,078	645
税引前四半期利益(△損失)	△554	531
法人所得税費用	△18	223
継続事業からの四半期利益(△損失)	△536	308
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△23	—
四半期利益(△損失)	△559	308
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△558	308
非支配持分	△1	—
四半期利益(△損失)	△559	308
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△1	△4
純損益に振り替えられない項目の合計	△1	△4
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△3,398	977
キャッシュ・フロー・ヘッジ	114	104
ヘッジコスト	△113	△148
純損益に振り替えられる可能性のある項目 の合計	△3,397	933
税引後その他の包括利益	△3,398	929
四半期包括利益	△3,957	1,237

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△3,954	1,237
非支配持分	△3	—
四半期包括利益	△3,957	1,237
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	△13.45	8.06
非継続事業	△0.55	—
基本的1株当たり四半期利益(△損失)	△14.00	8.06
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	△13.45	7.73
非継続事業	△0.55	—
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)	△14.00	7.73

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2025年1月1日 残高	17,117	11,317	△2,298	5	19,397	136
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	△3,396	114
四半期包括利益	—	—	—	△1	△3,396	114
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△36	—	—	—	—
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	—	—	—	45	—
所有者との取引額等合計	—	△36	—	—	45	—
2025年3月31日 残高	17,117	11,281	△2,298	4	16,046	250

  

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計					
2025年1月1日 残高	73	19,611	239	15,486	61,472	36	61,508
四半期利益(△損失)	—	—	—	△558	△558	△1	△559
その他の包括利益	△113	△3,396	—	—	△3,396	△2	△3,398
四半期包括利益	△113	△3,396	—	△558	△3,954	△3	△3,957
剰余金の配当	—	—	—	△398	△398	—	△398
株式報酬取引	—	—	—	—	△36	—	△36
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	45	△45	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	45	△45	△398	△434	—	△434
2025年3月31日 残高	△40	16,260	194	14,530	57,084	33	57,117

(単位：百万円)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額
2026年1月1日 残高	17,117	11,332	△2,901	291	3	23,010
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△4	977
四半期包括利益	—	—	—	—	△4	977
自己株式の処分	—	—	3	—	—	—
株式報酬取引	—	33	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	33	3	—	—	—
2026年3月31日 残高	17,117	11,365	△2,898	291	△1	23,987

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	ヘッジコスト	合計			
2026年1月1日 残高	206	13	23,523	△12,036	37,035	37,035
四半期利益(△損失)	—	—	—	308	308	308
その他の包括利益	104	△148	929	—	929	929
四半期包括利益	104	△148	929	308	1,237	1,237
自己株式の処分	—	—	—	—	3	3
株式報酬取引	—	—	—	—	33	33
所有者との取引額等合計	—	—	—	—	36	36
2026年3月31日 残高	310	△135	24,452	△11,728	38,308	38,308

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	△554	531
非継続事業からの税引前四半期損失	△27	—
減価償却費及び償却費	881	936
引当金の増減額(△は減少)	48	△550
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△231	△73
受取利息及び受取配当金	△55	△49
支払利息	388	392
為替差損益(△は益)	640	53
固定資産売却損益(△は益)	△1	△1,043
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△588	△646
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,057	1,337
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△137	△519
その他	5	△487
小計	1,426	△118
利息及び配当金の受取額	55	49
利息の支払額	△282	△174
法人所得税等の支払額	△174	△388
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,025	△631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△409	△264
有形固定資産の売却による収入	1	1,046
無形資産の取得による支出	—	△1
その他	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406	781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△82	△78
配当金の支払額	△346	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428	△79
現金及び現金同等物に係る換算差額	△566	126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375	197
現金及び現金同等物の期首残高	23,334	34,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,959	34,830

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「引当金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書の組替を行っております。この結果、前第1四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた53百万円は、「引当金の増減額(△は減少)」48百万円、「その他」5百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」及び「ブロー・リアルエステイトビジネス」の2つを報告セグメントとしております。「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「ブロー・リアルエステイトビジネス」はブロー、ファン等の送風機等の製造・販売・メンテナンス及び不動産の賃貸等を行っております。

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されております。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	ブロー・ リアルエステイト ビジネス			
売上収益					
外部収益	17,996	277	18,273	—	18,273
セグメント間収益	0	—	0	△0	—
連結収益合計	17,996	277	18,273	△0	18,273
セグメント利益	287	71	358	0	358
			金融収益		166
			金融費用		△1,078
			税引前四半期利益(△損失)		△554

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	ブロー・ リアルエステイト ビジネス			
売上収益					
外部収益	17,437	347	17,784	—	17,784
セグメント間収益	—	—	—	—	—
連結収益合計	17,437	347	17,784	—	17,784
セグメント利益	1,116	11	1,127	—	1,127
			金融収益		49
			金融費用		△645
			税引前四半期利益		531